

感染拡大特別警報発令中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年5月26日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第20週分・5月17日～5月23日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、5月23日時点で718,864例となり、12,312例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は減少傾向ですが、病床のひっ迫は続いています。緊急事態宣言の対象は沖縄県を加えて10都道府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置は、隣県の石川、岐阜を含む8県で実施されています。

県内では、今週の新規感染者は226例で、先週の約2倍に増加し、5月23日時点の累積感染者数は1,758例になりました(図;棒グラフ)。1週間当たりの新規感染者数は過去最多となっています。感染者数及び入院者数の増加が継続しています。5月21日に県では医療提供体制のひっ迫などを避けるため、感染拡大特別警報を発出しました。会話時のマスク着用、県境を跨いだ移動の自粛、職場での感染防止対策に加え、イベントの開催を慎重に検討することなど、これまで以上にうつさない、うつらない行動の徹底が求められています。

県内のN501Y変異の累積陽性件数は443件となり(5月23日時点)、現在はほぼ全てがN501Y変異ウイルスであると推定されます(衛生研究所ホームページ参照)。また、そのうちゲノム解析を行った症例は全て、感染性が従来株より高いとされる英国由来変異株(VOC1)でした。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった一人一人が取り組むべき感染対策は同じです。これ以上の感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

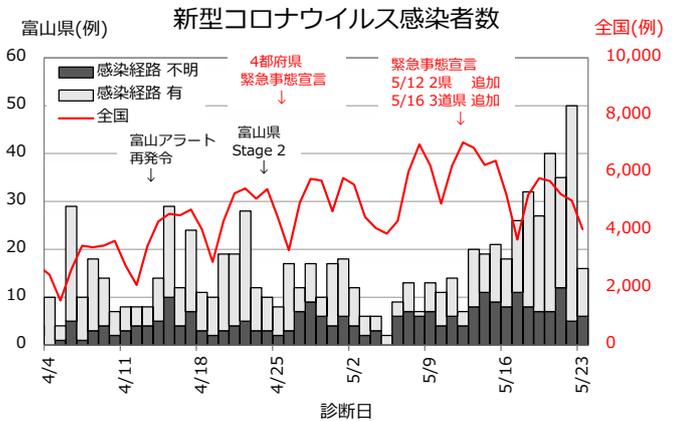
《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 226件
二類感染症 結核 3件 (①第19週診断分:90歳代、女性 ②80歳代、男性 ③90歳代、女性)
五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (70歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	4.79(↑)	2.72
2位	感染性胃腸炎	3.48(↑)	3.45
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83(↑)	0.72
4位	突発性発しん	0.34(↓)	0.45
5位	マイコプラズマ肺炎	0.20(↑)	0.00
6位	手足口病	0.17(↑)	0.00

RSウイルス感染症が例年より増えています！
3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第20週 令和3年5月17日～令和3年5月23日）

分類	疾患	今週報告分（第20週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	23	9	119	3	71	1	226	63	116	302	52	613	32	1,178
二類感染症	結核			1	1			2	7	3	15	7	15		47
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2		1		3
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎								1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症				1			1			1	1			2
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		8		10
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒									1	2		11		14
	播種性クリプトコックス症												1		1
破傷風										1				1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	1	10	85	8	35		139	78	65	263	14	549		969
		0.25	3.33	10.63	2.00	3.50		4.79							
	咽頭結膜熱		1	2		1		4	18	26	89	1	59		193
			0.33	0.25		0.10		0.14							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		10	2	10		24	49	27	393	68	152		689
		0.50		1.25	0.50	1.00		0.83							
	感染性胃腸炎	39	12	9	14	27		101	368	186	254	75	526		1,409
		9.75	4.00	1.13	3.50	2.70		3.48							
	水痘			1		2		3	1	6	14	4	21		46
				0.13		0.20		0.10							
	手足口病	1		3		1		5	2		8	1	3		14
		0.25		0.38		0.10		0.17							
	伝染性紅斑									1	5	1	8		15
	突発性発しん	2		3	1	4		10	25	16	71	32	59		203
		0.50		0.38	0.25	0.40		0.34							
	ヘルパンギーナ	1						1	16						16
	0.25						0.03								
流行性耳下腺炎			1				1	2	2	4	2	2		12	
			0.13				0.03								
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎			1				1		1	7	1			9	
			1.00				0.20								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）										1	8			9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です